

令和6年度 企画展

# みんなの

ま  
な  
び  
や



詳細情報



埼玉県立文書館  
マスコット  
「もんじろう」



川越市が完全給食（昭和30年9月7日）埼玉新聞社撮影戦後報道写真 S302410-01

教育史編さんと

学校アーカイブズ

令和6年(2024)

6/1[土]~9/1[日]

題字「学校」 当館所蔵「昭和十八年度第三種公文書綴」  
(埼玉県教育史編さん室移籍文書 176)の表紙より  
横瀬町立横瀬小学校第1校舎 中島清治撮影(『埼玉の木造校舎』より)

## 【開館時間・観覧料】

午前9時~午後5時・**無料**

## 【休館日】

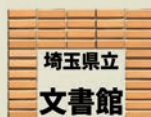
月曜日、祝日、  
月末休館日(7/31[水])

## 【会場】

埼玉県立文書館 1階 展示室2



・JR浦和駅(西口)下車 徒歩15分  
・JR中浦和駅下車 徒歩18分



さいたまけんりつもんじょかん  
**埼玉県立文書館**  
Saitama Prefectural Archives

〒330-0063  
さいたま市浦和区高砂 4-3-18  
☎048-865-0112



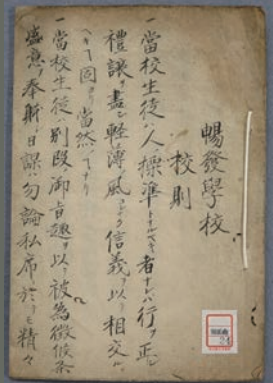
彩の国  
**埼玉県**



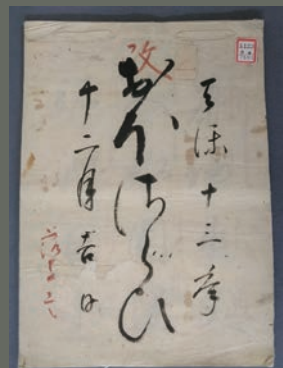




いろは覚 篠崎家文書 277



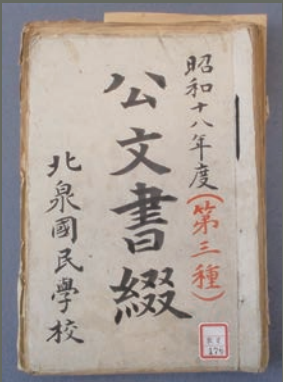
暢發学校 (校則・舎則)  
御正山家 (旧東陽寺) 文書 24



おほさらひ (清書双紙) 会田家文書 7801



中凌 (手習) 会田家文書 7729



昭和十八年度第三種公文書綴  
埼玉県教育史編さん室移籍文書 176

埼玉県教育委員会は昭和 40 年 (1965) から昭和 52 年 (1977) にかけて、埼玉における教育に関する資料を収集・編集・出版する埼玉県教育史編さん事業、埼玉県戦後教育史編さん事業を行いました。その成果である『埼玉県教育史』全 7 巻と『埼玉県教育史年表』全 2 巻は、古代から現代までの埼玉における学びの歴史を幅広く取り上げています。

当館は、この事業で集められた資料を所蔵しているほか、県内の学校の文書や教科書類も収蔵しています。学校は人びとが学ぶ場であるとともに、日誌や写真など地域の歴史を考える手がかりとなる「学校アーカイブズ」が残されている場でもあるのです。

令和 5 年 (2023) は、近代的な学校制度を定めた学制の施行から 150 年目でした。そして本年、教師を育てるための学校である埼玉県師範学校 (現埼玉大学教育学部) が設置から 150 年を迎えるとともに、令和 7 年 (2025) は埼玉県教育史編さん事業の立ち上げから 60 年になります。

本展では埼玉の教育にとって節目となるこの機会に、江戸時代から戦後にかけての埼玉における学校教育に注目し、人びとが学び舎で、何を、どのように学んできたのかを、主に当館の収蔵資料から紹介します。



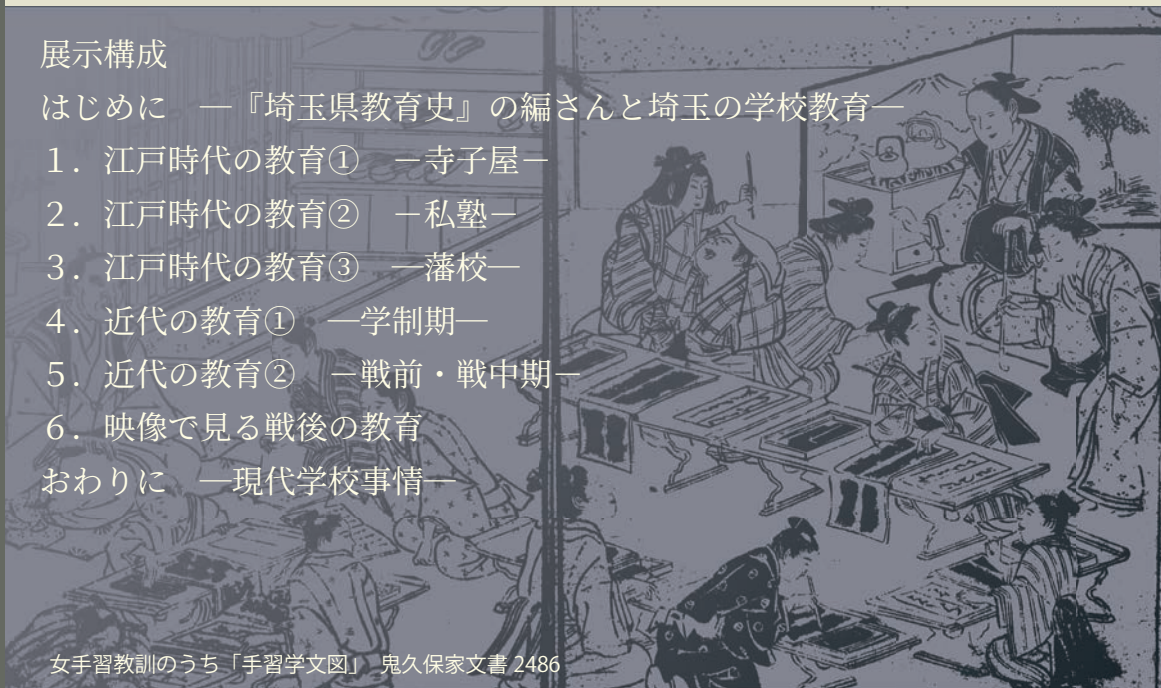
『埼玉県教育史』及び  
『埼玉県教育史年表』

### 展示構成

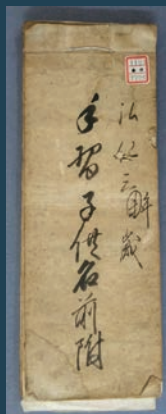
はじめに —『埼玉県教育史』の編さんと埼玉の学校教育—

1. 江戸時代の教育① —寺子屋—
2. 江戸時代の教育② —私塾—
3. 江戸時代の教育③ —藩校—
4. 近代の教育① —学制期—
5. 近代の教育② —戦前・戦中期—
6. 映像で見る戦後の教育

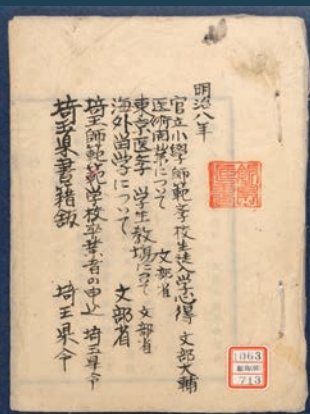
おわりに —現代学校事情—



女手習教訓のうち「手習学文図」 鬼久保家文書 2486



手習子供名前附  
(続柄・名前・年齢等書上)  
会田家文書 7726



学制諸令  
飯島徳蔵氏収集文書 713



『初等科国語 四』 藤井家文書 1021  
(墨塗り教科書)